

1. 土地利用の見直しの検討状況

(1) 土地利用見直し方針案



土地利用見直し方針案

○土地利用誘導方針【令和2年(2020年)3月公表】

【3つの視点】

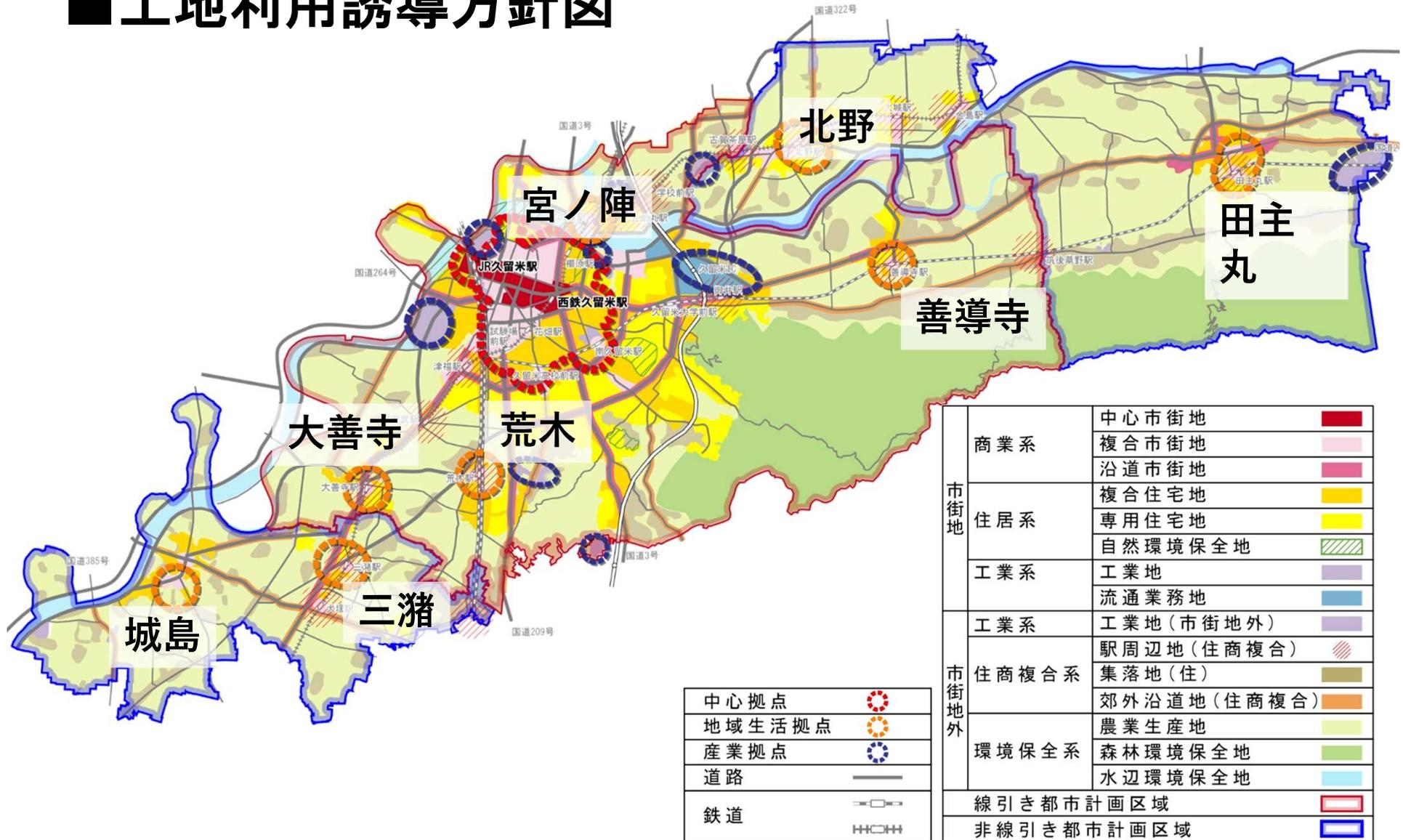
① 4町合併後の
久留米市の都市計画のあり方

② 鉄道駅周辺の活性化

③ 既存集落のコミュニティ維持

土地利用見直し方針案

■土地利用誘導方針図



土地利用見直し方針案

視点①：4町合併後の久留米市の都市計画のあり方

- 用途地域見直し、特別用途地区の指定
- 特定用途誘導地区の指定
- 生産緑地地区制度の導入

視点②：鉄道駅周辺の活性化

< I > 市街地（市街化区域、用途地域）

- 用途地域の見直し（拠点形成）

< II > 市街地外（市街化調整区域、用途白地地域）

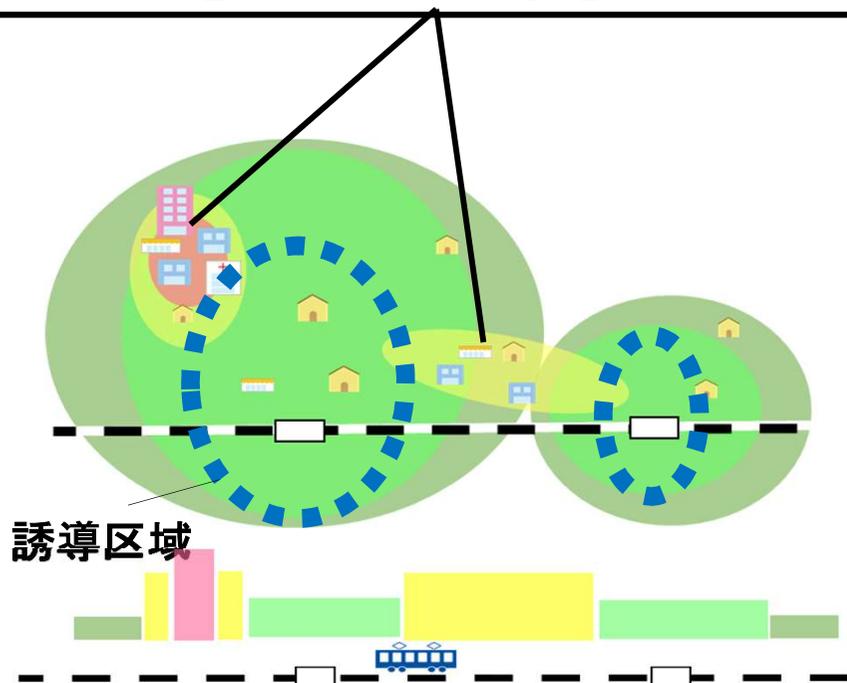
- 開発許可制度の見直し（駅周辺地）

土地利用見直し方針案

1) 拠点形成に向けた適切な立地誘導

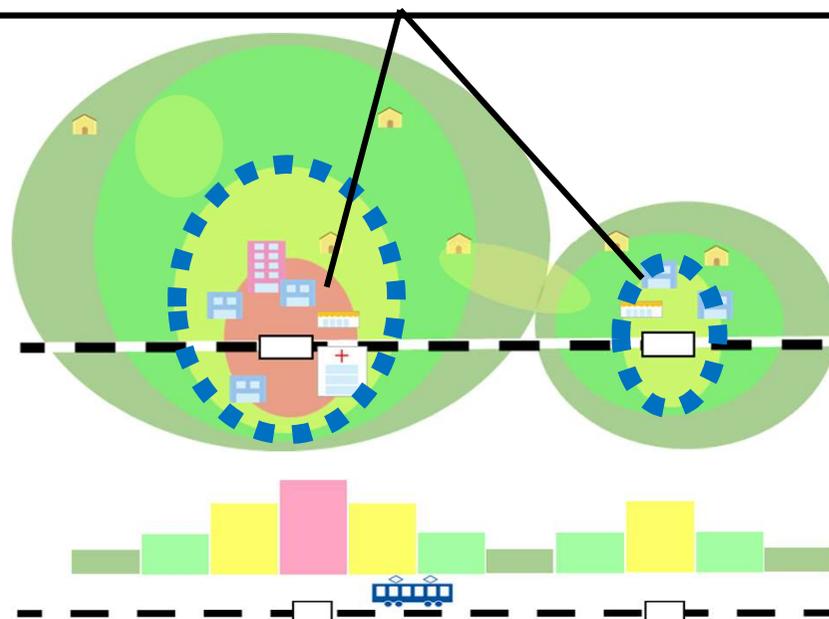
【課題】

- 拠点から離れた箇所に、生活サービス施設の立地が可能



【対応の方向性(案)】

- 生活サービス施設の立地が可能な用途地域等の配置
- 鉄道駅周辺の拠点形成



土地利用見直し方針案

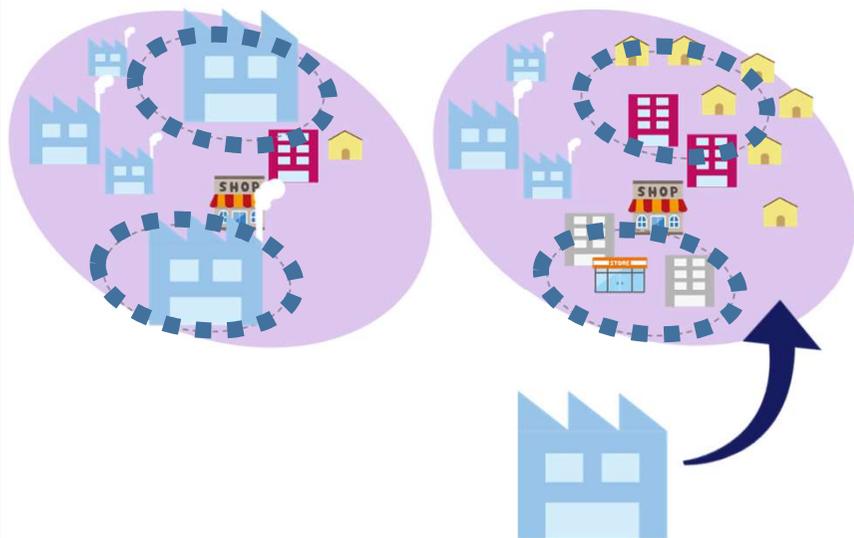
2) 工業系用途地域が住宅地化された地域

【課題】

- 工場跡地に住宅地が形成
- 騒音・振動の問題など、互いの環境に悪影響

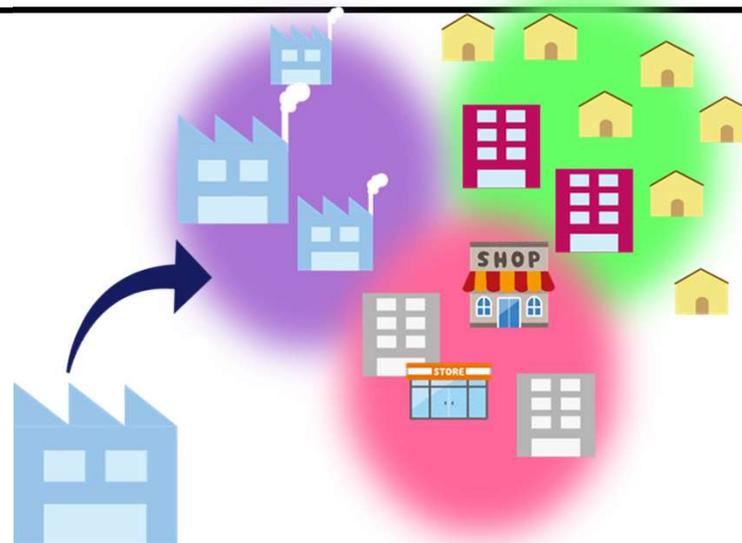
(過去)

(現在)



【対応の方向性（案）】

- 工場などは、集積を図る地域に誘導
- 商業・住居も、集積すべき地域に誘導
- メリハリある土地利用



土地利用見直し方針案

3) 地域の発展を支えてきた産業等の保護・増進

【課題】

- 地域の産業の衰退が、雇用の喪失や地域の魅力低下を招く

【対応の方向性(案)】

- 地域の雇用や生活に欠かせない産業を保護・増進
- 増築や建物の更新が可能となる土地利用

